CEATEC JAPAN 2015

HATS PLAZA 参加募集案内

つながる安心 かがやく未来

HATS PLAZA

Harmonization of Advanced Telecommunication Systems

2015/6/15

HATS推進会議

ご挨拶

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本年10月7日から10日の4日間開催されるCEATEC JAPAN 2015(シーテック ジャパン2015)は通信・情報・映像が融合したデジタルネットワーク時代において、最新の技術・製品・システム・ソフトが一堂に会す、アジア最大の情報発信・交流の場として、約15万人の来場者がある一大エキシビジョンです。本年は「NEXT-夢を力に、未来への挑戦」をテーマに、イノベーション力を結集して競い合い、新たな「NEXT」を提案し、ビジネスとして具現化する総合展を目指しています。

HATSデモンストレーション実行委員会では、IT活用の最前線で様変わりしてゆくNGNに向けたHATSの取組み、先進の基盤技術・相互接続性やシステム/ソフト/サービスについても積極的にプレゼンテーションしたいと考えております。

さらにビジネス機会の創出に向け、BtoB、BtoB/toCを前提とした企業ユーザ(来場者)へのアプローチを図るために、相互接続関連製品等をより多くの来場者に「接して」「触れて」いただくためのデモンストレーションや体験型の展示も積極的に展開し、ビジネスチャンスを創造して参ります。

是非、本企画趣旨にご賛同いただき、ご出展いただけますようお願いいたします。

敬具

CEATEC JAPAN 2015開催概要

名　　称　CEATEC JAPAN 2015（シーテック ジャパン 2015）
Combined Exhibition of Advanced Technologies- Providing Image, Information and Communications

テ ー マ　ＮＥＸＴ -夢を力に、未来への挑戦

Ｕ Ｒ Ｌ　http://www.ceatec.com/

会　　期　2015年10月7日（水）～10日（土）　午前10時～午後5時
《無料公開日》　10月10日（土）　午前10時～午後5時

会　　場　幕張メッセ　千葉市美浜区中瀬2-1

入　　場　全来場者登録入場制
《公　開　日》当日登録：一般1,000円・学生500円（学生20名以上の団体および小学生以下は入場無料）
Web事前登録者・招待券持参による当日登録者：入場無料
《無料公開日（10月10日）》入場無料（18才以上は入場登録が必要です）

主　　催　CEATEC JAPAN 実施協議会
一般社団法人電子情報技術産業協会:JEITA　　一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会:CIAJ　　一般社団法人コンピュータソフトウェア協会:CSAJ

後　　援　総務省、外務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省（以上予定、建制順）
独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）、国立研究開発法人産業技術総合研究所、
国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）、独立行政法人中小企業基盤整備機構、日本政府観光局（JNTO）、
千葉県、千葉市、日本放送協会、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、東京商工会議所、千葉商工会議所、
米国大使館商務部、駐日欧州連合代表部、英国大使館貿易・対英投資部、カナダ大使館、フランス大使館企業振興部―ユビフランス（以上予定、順不同）

協　　賛　一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人電気通信協会、一般財団法人インターネット協会、一般社団法人情報通信技術委員会、
一般財団法人日本情報経済社会推進協会、一般社団法人IT検証産業協会、一般社団法人コンピュータ教育振興協会、
一般社団法人電波産業会、一般社団法人衛星放送協会、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、一般社団法人日本CATV 技術協会、
全国家電流通協議会、全国電機商業組合連合会、全国電子部品流通連合会、一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会、
一般社団法人日本電機工業会、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会、一般社団法人日本オーディオ協会、一般社団法人日本医療機器工業会、
一般社団法人日本電気計測器工業会、一般社団法人日本電気制御機器工業会、一般社団法人カメラ映像機器工業会、一般社団法人組込みシステム技術協会、
一般社団法人日本電子回路工業会、一般社団法人日本自動車工業会、特定非営利活動法人ITS Japan 、一般社団法人日本自動車部品工業会、
電気事業連合会、一般財団法人新エネルギー財団、一般財団法人省エネルギーセンター、一般社団法人日本電気協会、一般社団法人電池工業会、
一般社団法人太陽光発電協会、一般社団法人日本風力発電協会、一般社団法人ソーラーシステム振興協会、スマートコミュニティ・アライアンス
一般社団法人住宅生産団体連合会、一般社団法人日本機械工業連合会、一般社団法人日本ロボット工業会、一般社団法人日本冷凍空調工業会、
一般財団法人デジタルコンテンツ協会、一般社団法人日本映像ソフト協会、一般社団法人日本書籍出版協会／一般社団法人日本レコード協会
（以上予定、順不同）

運　　営　CEATEC JAPAN 運営事務局（ 一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会）
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル5階
電話：(03)6212-5233　FAX：(03)6212-5226

HATS PLAZA 基本的な考え方

《出展テーマ》

つながる安心　かがやく未来

ーＨＡＴＳは情報通信機器の接続性向上に取り組み、皆様に安心をお届けしますー

ＨＡＴＳは各メーカーの情報通信機器の相互接続試験を実際に行うことで、利用者がいつでもどこででも、安心して製品を利用し、自由にシステムを構築できるようにしています。
そのため、今回のCEATECの出展において、情報通信分野に関わる業界関係者、ユーザへの情報の提供だけではなく、一般生活者への情報訴求を意識したコンセプトとしています。

情報通信端末の相互接続試験の成果発表を初め、ＨＡＴＳの意義と活動概要を分かりやすく紹介します。

親しみがあり、分かりやすいビジュアルの採用	映像とデモだけではなく来場者参加型メインステージ	相互接続デモ形態による機器展示コーナー

各分野の取組みや技術解説、
参加メンバー企業の個別アプローチを可能にする各コーナー

出展参加メリット

HATS PLAZAへの参加メリット

1	アジア最大の情報発信・交流の場として　約１５万人の来場がある展示会
2	主催団体として、好立地かつ大規模ブースによる　集客率の高い出展ブース
3	グループ出展のため、個別出展に比べ　出展費などの負担が少ない
4	主催団体として、メディア注目率も高く　ＰＲ効果大

＋

ＣＥＡＴＥＣ事務局より以下の出展サポートサービスのご提供を予定しています

＊ＣＥＡＴＥＣ公式Ｗｅｂサイト出展者ページ
来場者のみならず、業界関係者、プレス関係者等にも多く閲覧されているサイトです。
このサイトは出展者情報自動掲載システムを導入しています。

＊招待券・案内状を無料にて２００セット配布

＊ニュースセンター
独自の取材・編集チーム「ニュースセンター」を組織しています。出展者各位が潜在顧客、来場予定者やプレス等に向けて知らせたい情報を、専門ライターが取材し、Ｗｅｂマガジンや過去の来場者へメールニュースとして広く情報発信します。

＊プレスリリース
開催期間中にプレスセンターを運営し、マスコミに対して様々な情報を発信します。

電波タイムズ
平成26年10月10日（金曜日）
HATS PLAZA
120インチ大型ディスプレイでプレゼンテーション
テーマは「つながる安心、かがやく未来」
メインステージのプレゼンテーション
10G－EPONの動態を聞く

来場者数/ＶＩＰ来場結果（2014年実績）

■CEATEC JAPAN 2014 総来場者数　150,912名

（名）

	10月7日（火）	10月8日（水）	10月9日（木）	10月10日（金）	10月11日（土）	合計
来場者	16,307	26,180	28,201	36,905	19,618	**127,211**
プレス	801	273	169	178	125	**1,546**
出展者	5,530	4,196	4,118	4,263	4,048	**22,155**
合計	**22,638**	**30,649**	**32,488**	**41,346**	**23,791**	**150,912**

■ご来場のＶＩＰ

《10月7日（火）》

＊西銘　恒三郎 氏　　総務省　副大臣
＊櫻井　俊 氏　　総務省　総務審議官
＊吉良　裕臣 氏　　総務省　総合通信基盤局長
＊吉田　眞人 氏　　総務省　総合通信基盤局　電気通信事業部長
＊富永　昌彦 氏　　総務省　総合通信基盤局　電波部長
＊安藤　友裕 氏　　総務省　情報流通行政局長
＊森　清 氏　　総務省　情報通信国際戦略局　次長
＊巻口　英司 氏　　総務省　情報通信国際戦略局　参事官
＊佐々木　則夫 氏　　CIAJ　会長（(株)東芝　副会長）

《10月8日（水）》

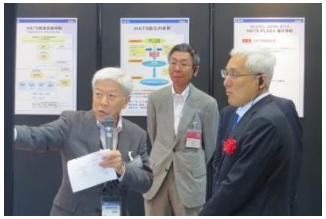
＊小笠原　倫明 氏　　元総務省　事務次官／大和総研　顧問
＊渡辺　克也 氏　　総務省　情報流通行政局　官房審議官
＊長谷川　岳 氏　　総務省　大臣政務官
＊富永　昌彦 氏　　総務省　総合通信基盤局　電波部長
＊布施田　英生 氏　　総務省　総合通信基盤局　移動通信課長

《10月9日（木）》

＊鈴木　茂樹 氏　　総務省　情報通信国際戦略局長
＊齊藤　忠夫 氏　　HATS推進会議　議長（東京大学名誉教授）

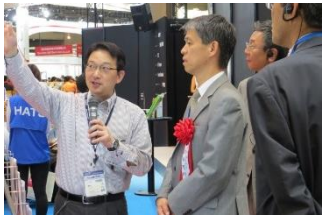
■ご来場の様子

総務省　西銘　恒三郎 氏
〃　櫻井　俊 氏
〃　吉良　裕臣 氏
〃　吉田　眞人 氏
〃　富永　昌彦 氏
CIAJ　佐々木　則夫 氏

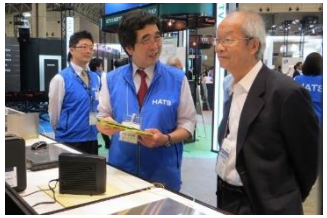


元総務省　小笠原　倫明 氏

総務省　長谷川　岳 氏
〃　富永　昌彦 氏
〃　布施田　英生 氏



総務省　鈴木　茂樹 氏



HATS推進会議（議長）　齊藤　忠夫 氏

HATS PLAZA展示構成

メンバー企業の最新の製品を用いたビジネススタイルの変化を来場者に分かりやすく
体験・体感して頂き、課題解決へ向けての新たなワークスタイルを提案することで、
参加メンバー企業のプレゼンスを高めます。

接続試験紹介コーナー

相互接続性を体感できる実機展示やパネルによる活動紹介

各社製品機器を展示して相互接続デモ形態による製品紹介ができ、また個別対応により技術的訴求力が高い展示が可能です。

- １０G-ＥＰＯＮ
- ＡＶ通信機器（ＨＤＴＶ会議）
- ＩＰ-ＰＢＸ
- ＦＡＸ
- ホームネットワーク
- ＩＰカメラ

その他、様々な展示環境・プレゼンテーション環境を用意しています。

メインステージ

ＨＡＴＳの相互接続の意義・重要性、各技術分野について、分かりやすく解説し、より多くの来場者への理解促進に努めます。
また、参加性も持たせ、飽きのこない展開を図ります。
［プレゼンテーション例］
＊ＨＡＴＳの役割と意義
＊ＮＧＮ次世代ネットワーク構想
＊各技術分野の概要紹介　　など

ＴＴＣコーナー

一般社団法人情報通信技術委員会（ＴＴＣ）による最新標準化動向の紹介
＊標準化の役割
＊ホットトピックの紹介
＊５Ｇを含む次世代モバイルネットワーキング、ＩｏＴ/Ｍ２Ｍへの取組
＊分野横断的な活動を通じた新分野への展開
＊ＴＴＣ入会のご案内

その他の出展

ＮＧＮなどの新たなオフィスコミュニケーション実機（解説パネル）展示
相互接続に付随した各社独自の機能や関連製品のアプローチが可能です。
［昨年までの展開例］
＊ＮＧＮ対応製品の展示
＊各種業務・業種向けシステム連携などのソリューション提案
＊モバイル端末の展示
＊マルチメディア/リッチコンテンツ対応製品
＊ＩＰテレフォニー関連製品
＊セキュアー関連製品　ほか

インフォメーション

ブースマップ、プレゼンテーションスケジュール等を掲出し、来場者に告知。日英での対応が可能なコンパニオンを常時配置します。

2015展示概要①

概要：相互接続をアピールする接続試験紹介コーナーの詳細

ＦＡＸ

画像通信の方法はインターネットの普及とブロードバンドの進化により多様化していますが、ＦＡＸ(ファクシミリ)は簡単に安心してつながる通信機器として、まだまだ活用されています。
本年も昨年同様、ＦＡＸの基本機能に加えて、省エネ、省資源、セキュリティなどをキーワードとした各社の特長ある製品をアピールできるように、機器展示・デモおよびカタログ出展の場を提供いたします。

ＡＶ通信機器（ＨＤＴＶ会議）

マルチメディア通信機器の主要なアプリケーションの一つに、オーディオ・ビジュアルのリアルタイム通信サービスがあります。
ＡＶ通信機器WGとＨＤＴＶ会議ＳＷＧではＶｏＩＰ（Voice over IP)サービス、ＨＤＴＶ会議/ＨＤＴＶ電話システムのサービス中心にこれらに関連したオーディオ・ビジュアル通信機器について、より活発な活動を進めると共に、５年前からＮＧＮに対応した接続試験を実施してきています。
今までに接続試験の実施要領を制定し、それに基づいたサービス試験勧告をＩＴＵ-Ｔにて成立化を図り、またＡＰＴコンフォーマンス＆インタオペラビリティイベントへの参加を支援するなど海外団体との関連も強めています。こうした結果を踏まえ、各社端末間の相互接続状況を展示するとともに、各社の最新のオーディオ・ビジュアル通信ソリューションのデモ展示により来場者に広くアピールできる場を提供します。

ＩＰ-ＰＢＸ

企業にとって肥大化する通信コストの削減が大きな命題となっており、その解決策として音声情報をパケット化しＩＰネットワークに流すＶｏＩＰ技術の活用が広がっています。
本年度は、ＶｏＩＰ通信の制御プロトコルとしてＳＩＰを採用している次世代ネットワーク（NGN）を介したＵＮＩにおける相互接続試験を予定しています。
ＨＡＴＳ ＰＬＡＺＡでは、検証試験の結果を踏まえ、音声通信・発信番号表示などの基本機能に加え、付加サービスも可能であることを動態展示によってアピールする場を提供します。

2015展示概要②

１０G-ＥＰON

１０G-ＥＰON　～光ブロードバンドサービスを支える光アクセス装置～
ＦＴＴＨ（Fiber to the home）による光ブロードバンドサービスを支える光アクセス装置として、複数のユーザで光帯域をシェアするＥＰON（EthernetベースのＰON（Passive Optical Network））が広く普及しています。光アクセス相互接続試験実施連絡会では、最大１０Gbpsの帯域を複数のユーザでシェアする１０G-ＥＰON装置について、相互接続試験における現状の課題の把握と、関連する標準化に役立てるため、昨年度までに５回の相互接続試験を実施してまいりました。
今年度も、引き続き１０G-ＥＰON装置の相互接続試験を実施し、さらなる相互接続性の向上を目指すと共に、光アクセス装置による魅力あるブロードバンドソリューションを提示していきます。
ＨＡＴＳ ＰＬＡＺＡでは、その成果として、各社装置間の相互接続状況を動態展示するとともに、各社の最新装置を展示し、出展各社が来場者に広くアピールできる場を提供します。

ホームネットワーク

情報通信技術の急速な発展に伴い、ホームネットワークの利用を前提とした様々な一般家庭向け端末が、販売されています。利用者がこれらの端末を安心して購入し、接続・利用できるようにするためには、ネットワークや端末の相互接続性の確保が重要となります。
このためＨＡＴＳ推進会議では、ホームネットワークに係る端末やネットワークの相互接続性の検証を「ホームネットワーク接続ＷＧ」で実施しています。具体的には、これまでにＮＡＴ(Network Address Translation)越えの一方式である、ＵＰｎＰ規格のＩＧＤ(Internet Gateway Device)仕様の相互接続試験やＴＴＣ ＪＪ-300.11に基づいた、レイヤー３/レイヤー４の相互接続性としてＧ３-ＰＬＣ関係の相互接続を実施しました。
ＨＡＴＳ ＰＬＡＺＡでは、これら試験内容に関するデモや各社の最新機器を展示する場を提供します。

ＩＰカメラ

主に監視目的で使用されるＩＰカメラは、各社独自のコントロールプロトコルでシステム化が進められマーケットに導入されてきておりました。
システム構築の利便性や機材採用の自由度の向上などを目指して、２００８年にＯＮＶＩＦという団体がＡＸＩＳ、Ｂｏｓｃｈ、ソニーの３社によって設立され、このプロトコルの統一が進められてきております。
ＯＮＶＩＦが策定した仕様をもとに開発された製品の相互接続性の確認を行い、あわせて仕様の問題点の洗い出しや追加されるべき機能の提案などを日本発として行うことを目的に、２００９年度からＩＰカメラ接続ＷＧが活動しております。
展示では、ＩＰカメラ接続ＷＧの活動の紹介と、接続試験の成果として、各社の最新機器のデモ展示をすることにより、出展各社のシステム提案を行う場を提供します。

その他の出展

各社が独自の機能や関連製品の展示を自由にできるコーナーを開設します。

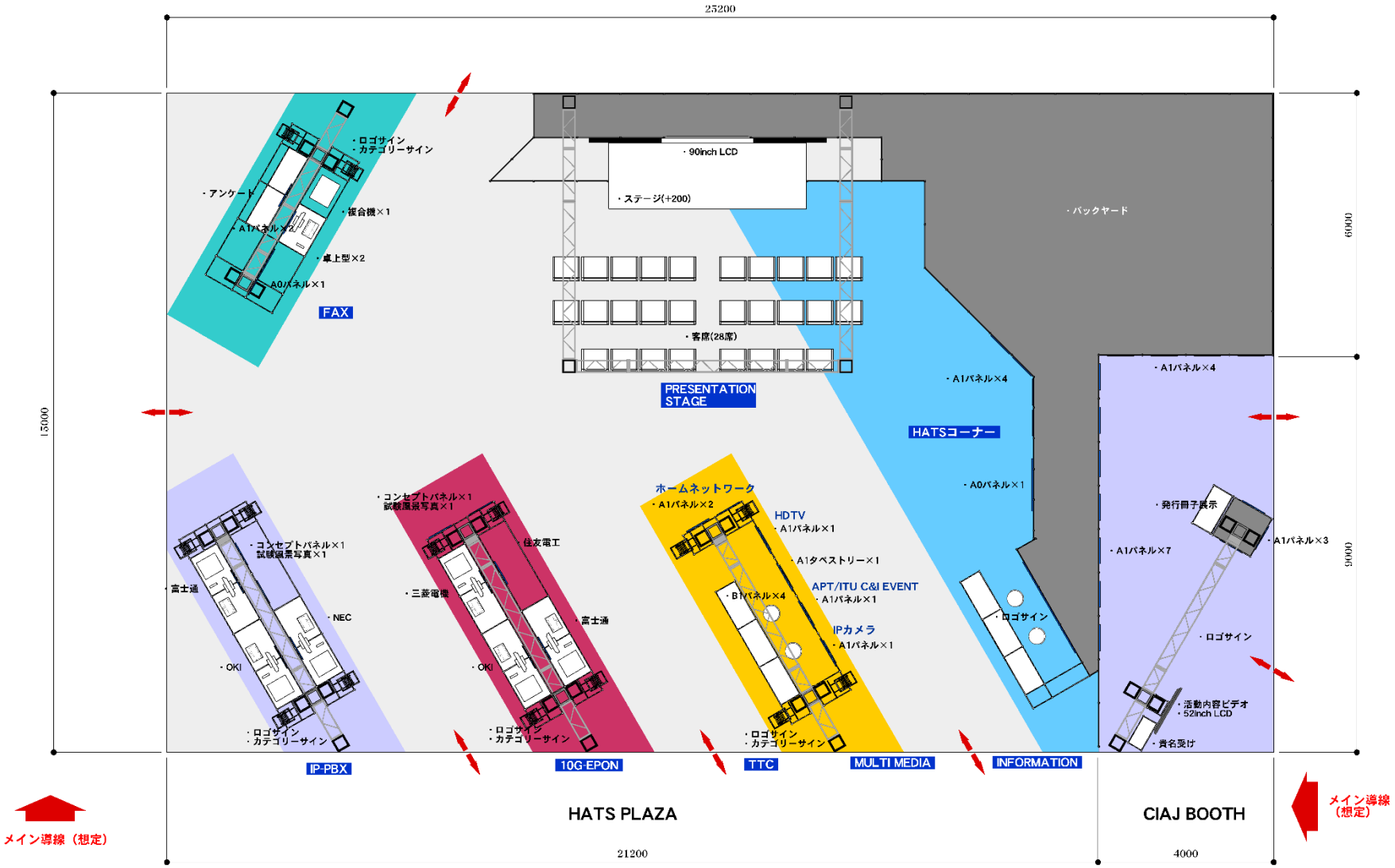
POINT

1. 接続試験に付随する製品や、その固有の機能や各社独自の機能/特徴をアピールできます。
2. 接続試験参加製品に関連する周辺製品を併せて展示アピールできます。
3. 接続試験に参加できなかったメンバー企業も製品の出展が可能です。
4. グループウェア連携などのコラボレーション展示やソリューション提案も可能です。

展開例

- モバイル端末展示
- 関連開発ツール試験機器
- セキュアー関連製品
- 各種業務・業種向けシステム連携などのソリューション提案
- ＩＰテレフォニー関連製品
- マルチメディア／リッチコンテンツ対応製品
- ・・・ など

ブースレイアウトイメージ



※上記平面図は、各コーナーの配置イメージです。
出展者数及び出展内容により、変更させていただきます。

ブースデザインイメージ

※上記デザインは、各コーナーの展開イメージです。
出展者数及び出展内容により、変更させていただきます。

参加概要一覧

■ＨＡＴＳ推進会議

	出展料（税別）	備考
■展示コーナー		
ＦＡＸ	６０万円から ７０万円	・展示ブース（以下の物が含まれています。） 展示台、照明器具、コンセント、カタログスタンド1台、 説明パネル［Ａ１縦サイズ］１枚＋製品カタログ ２種類、ネットワーク費用 ・ＣＥＡＴＥＣ ＪＡＰＡＮホームページ出展者紹介ページ・案内状 ※基本的には、開催までのＨＡＴＳデモンストレーション実行委員会に参加して頂きます。
ＡＶ通信機器（ＨＤＴＶ会議）		
ＩＰ-ＰＢＸ		
１０G-ＥＰＯＮ		
ホームネットワーク		
ＩＰカメラ		
■パネルコーナー	２０万円	説明パネル［Ａ１縦サイズ］１枚＋製品カタログ ２種類 ・ＣＥＡＴＥＣ ＪＡＰＡＮホームページ出展者紹介ページ・案内状

■その他の出展

出展料（税別）・・・単独出展は６０万円
上記展示コーナーに参加された企業は金額としてプラス３０万円位の費用を予定しております。

・基本装飾（展示台、照明器具・コンセント、説明パネル［Ａ１縦サイズ］１枚＋製品カタログ１種類、ネットワーク費用）
・ＣＥＡＴＥＣ ＪＡＰＡＮホームページ出展者紹介ページ・案内状

★注意：CEATEC JAPAN 2015の実施状況により、HATS PLAZAの出展内容を変更する場合がありますので、予めご了承ください。

HATS推進会議体制図

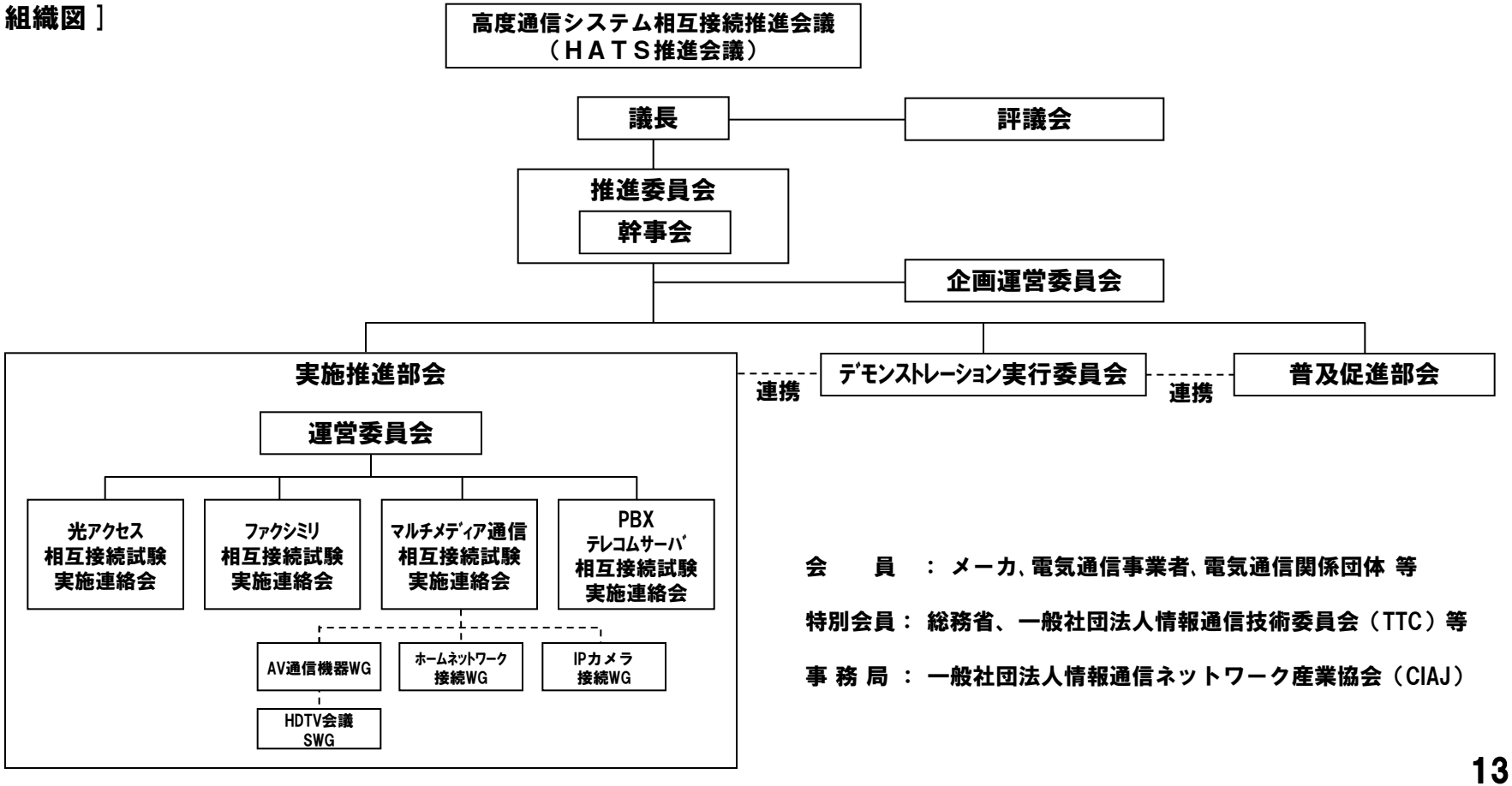
ＨＡＴＳ推進会議体制図

ＨＡＴＳとは

高度通信システム相互接続推進会議（Promotion Conference of Harmonization of Advanced Telecommunication Systems）

ネットワークに接続する高度な通信機器やシステムの相互接続性を確保するため、１９８８年（昭和６３年）に設立され、電気通信事業者、通信機器メーカなどが協力して活動を進めている組織。情報通信機器の相互接続性の確認のために、直接それぞれの機器を接続した試験を行い、マルチベンダ化が進む中で、さまざまな高度通信機器を安心して導入していただける環境作りに取り組んでいます。

［ 組織図 ］



会　　員　：メーカ、電気通信事業者、電気通信関係団体 等

特別会員：総務省、一般社団法人情報通信技術委員会（TTC）等

事 務 局 ：一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）

■昨年参考資料

CEATEC JAPAN 2014来場データ

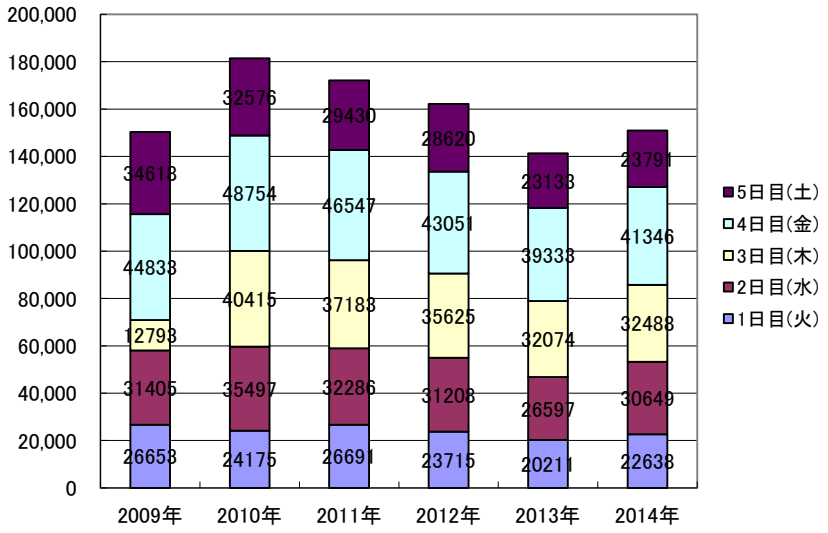
2014 HATS PLAZA出展コマ位置

2014 HATS PLAZA展示概要

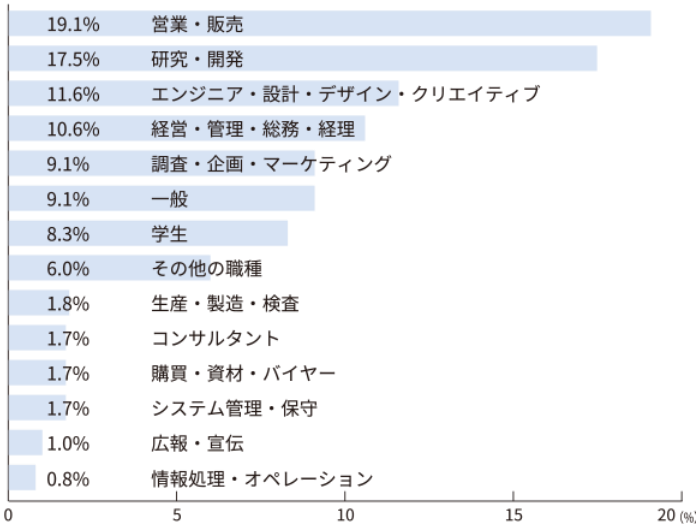
2014 HATS PLAZA掲載実績

CEATEC JAPAN 2014来場データ

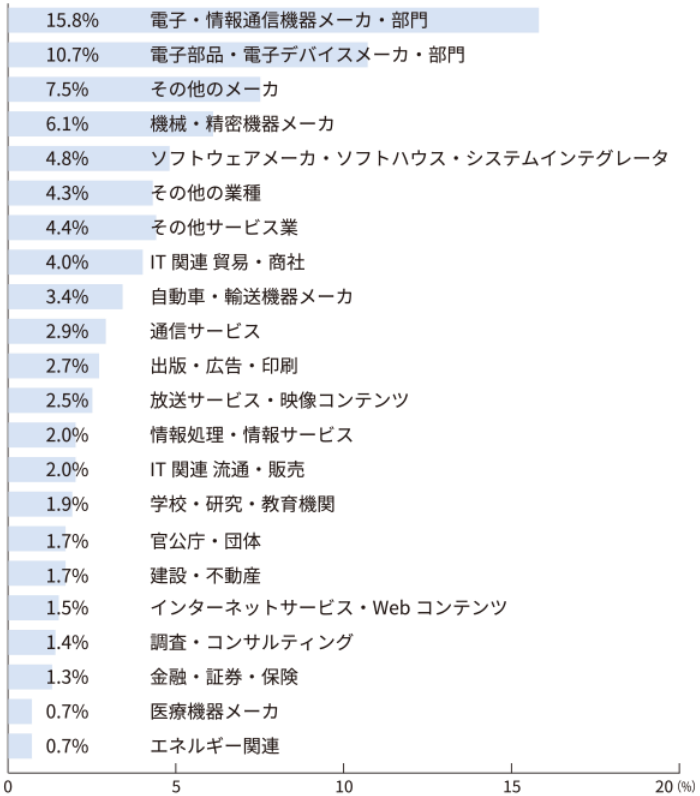
■来場者の推移



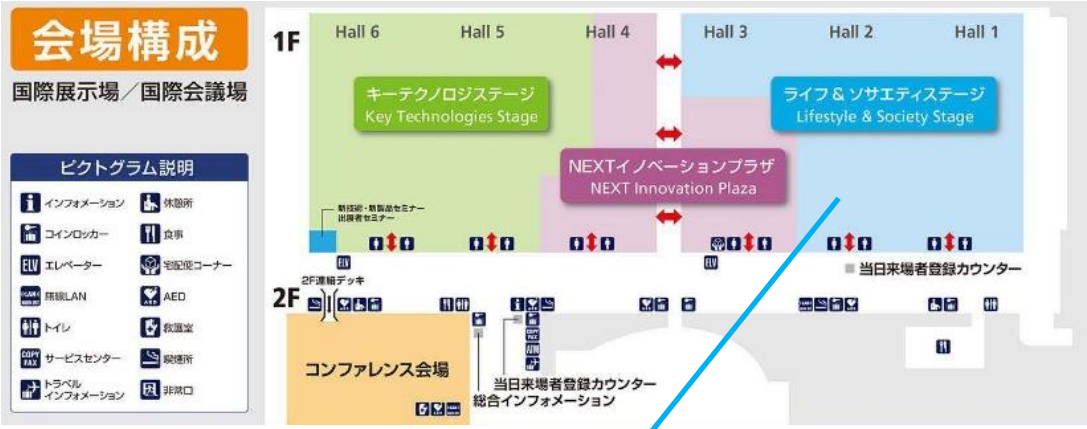
■来場者の業種



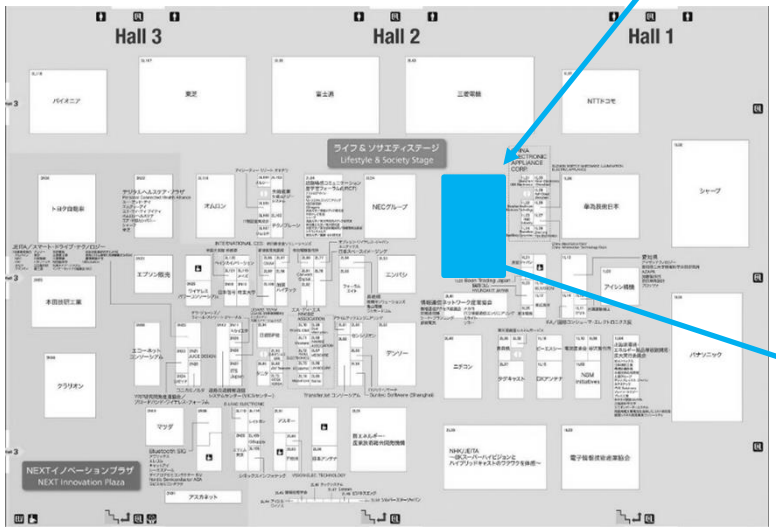
■来場者の職種



2014 HATS PLAZA出展コマ位置



HATS PLAZA出展位置【小間番号:2L42】



*大規模なブース環境　出展面積 約342㎡
*来場者の動線に有利な開放面
*メイン通路に面したロケーション

2014 HATS PLAZA展示概要①

インフォメーション	
1	HATS推進会議（出展名称表示） ※A0サイズ
2	メインステージスケジュール
3	HATS PLAZA会場案内図 ※841×841mm
4	HATS PLAZA記念品配布等の情報 ※450×450mm

FAXコーナー	
1	画像情報ファクシミリ委員会
2	FAXまだまだ便利に使えます！

IP-PBXコーナー		
1	NGN網を利用したSIPによるIP-PBX間相互接続への取り組み	
2	IP-PBX相互接続試験の様子（写真） ※A2サイズ	
3	NEC	コミュニケーションサーバ UNIVERGE SV9500
4	OKI	SIP-PBX DISCOVERY neo
5	富士通（株）	IPテレフォニー IP Pathfinder

10G-EPONコーナー		
1	“光”ブロードバンドサービスを支える光アクセスNW装置の相互接続試験の取り組み	
2	10G-EPON相互接続試験（写真） ※A2サイズ	
3	OKI	10ギガビットイーサネットPONシステム（10G-EPON）
4	住友電気工業（株）	10G-EPONアクセス機器 FSU7010/FTE7002
5	富士通（株）	10G-EPONが実現する超高速“光”ブロードバンドサービス
6	三菱電機（株）	三菱電機 10G-EPONシステム

HDTVコーナー		
1	HDTV会議端末の相互接続性確保に向けた取り組み	
2	HDTV会議システム相互接続試験の様子（写真） ※A2サイズ	
3	日本電信電話（株）	NGN網を介したHDTV会議端末の相互接続
4	NGN Testing & Showcasing	

TTCコーナー	
1	一般社団法人情報通信技術委員会TTC
2	TTCの役割
3	TTCの標準化活動
4	M2M基盤を活用したスマートコミュニケーションの実現に向けて

マルチメディアコーナー	
1	ホームネットワークの相互接続について
2	G3-PLC相互接続性確保の取組み
3	IPカメラの相互接続性の確保
4	NGN End-to-End service interoperability testing and showcasing on 2nd APT/ITU C&I event 2014
5	Optical Access Network Showcasing on 2nd APT/ITU C&I event 2014

HATS(What's HATS つながる安心 かがやく未来)コーナー	
1	HATS推進会議 ※A0サイズ
2	HATS推進会議 ※A0サイズ
3	HTAS推進会議体制（2014）
4	HATS設立の背景
5	CEATEC JAPAN 2014 HATS PLAZA展示体制
6	相互接続試験の実施状況
7	HATS推進会議 参加会社・団体一覧

2014 HATS PLAZA展示概要②

■メインステージ

＊TTCの概要やHATSの主な活動について、女性ナレーター2名による掛け合いで来場者に分かりやすいステージを1日7回、計35回を実施。
①10:30～ ②11:30～ ③13:00～ ④13:50～
⑤14:40～ ⑥15:30～ ⑦16:20～ 1回約18分
＊観覧者には事前にコントローラー(回答リモコン)を渡し、観覧者参加型で展開した。
＊なお、観覧者には、プログラム最後のクイズの正解数(早押し)の上位3名に賞品を、観覧者全員には参加賞をプレゼントするなど、ステージ集客を図る展開とした。

■HATSコーナー

＊パネルを中心にHATSの概要や主な活動、各コーナーの共催・参加各社を紹介した。

■FAXコーナー

＊顔を見分けてユーザーを感知するフルカラーデジタル複合機やインクジェット式のFAXのデモ展示、委員会紹介パネルの展示などを行った。
＊記念品がもらえるアンケートも実施した。

■IP-PBXコーナー

＊NGN網を利用したSIPによるIP-PBX間相互接続への取り組みや相互接続試験の様子、出展3社の取り組みを紹介したパネルを展示した。
＊体験いただいた方には、アニマルキッチンスポンジやマグネットを記念品として配布した。

■10G-EPONコーナー

＊10G-EPONの端末、モニターを設置し、高速で大容量の情報が送信できる様子を実機とパネルで紹介した。
＊アンケート回答者などには、スマホスタンドやボールペンを記念品として配布した。

■HDTVコーナー

＊HDTV会議端末の相互接続性確保に向けた取り組みについて、パネル展示、実機展示、パンフレット、チラシの配布などを実施した。
＊体験者には、ノック式消しゴム、アニマルマグネットを記念品として配布した。

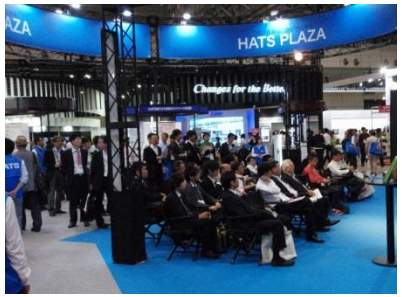
■TTCコーナー

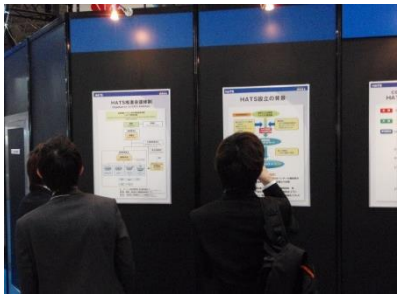
＊TTCの概要や活動を紹介したパネルの展示、映像上映、資料の配布などを行った。

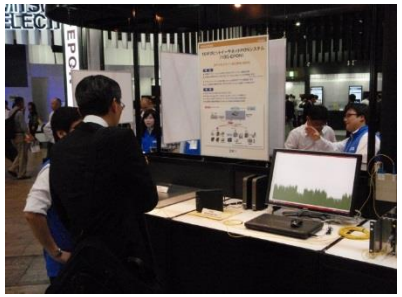
■マルチメディアコーナー

＊パネル展示、チラシ配布などを実施した。

2014 HATS PLAZA展示概要③







2014 HATS PLAZA掲載実績

■電波タイムズ

（掲載日：2014年10月10日）

電　波　タ　イ　ム　ズ
平成26年10月10日（金曜日）

HATS PLAZA 120インチ大型ディスプレイでプレゼンテーション
テーマは「つながる安心、かがやく未来」

10月7日（火）から10月11日（土）の5日間、千葉市の幕張メッセコンベンションセンターで開催されている「CEATEC JAPAN 2014」では、ライフ&ソサエティステージ（展示ホール2／小間番号2L42）の『HATS PLAZA』での多彩な展示・デモンストレーションが注目の的となっている。「つながる安心、かがやく未来」をテーマとし、HATS推進会議の取り組みを紹介。各種情報通信機器の相互接続性確保への取り組みのほか、一般社団法人情報通信技術委員会（TTC）の標準化活動についても紹介。また、国際会議場において、HATSコンファレンス2014を開催し、「最近のHATSにおけるトピックスの紹介」を演題に講演し大きな関心が持たれた。◇

メインステージのプレゼンテーション

10G―EPONの説明を聞く㊨西銘総務副大臣

HATS（高度通信システム相互接続）推進会議（議長：齊藤忠夫東大名誉教授／事務局：一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）では、幕張メッセ国際展示場のライフ&ソサエティステージ（展示ホール2）『HATS PLAZA』を設置。南側はNTTドコモの位置にあり、隣接のCIAJフォーラムプラザ展示ブースには、CIAJ業務紹介及びアクセシビリティ紹介コーナーを設けた。

『HATS PLAZA』メインステージにおいては、120インチの大型ディスプレイを使い、HATS推進会議の取り組みを、楽しく分かり易く紹介するプレゼンテーションを毎日7回実施している。ストーリーは「未来からやってきたAZAを探検する」という調査員がHATS PLAZAを探検する）とした内容で楽しくいっぱい。また、今年度に実施した相互接続試験（TIP―PBX、光アクセス10G―EPON装置、HDTV会議システム等）のデモンストレーション展示も行っている。

コーナー別では、PBXグループがNEC、OKI、富士通、10G―EPONグループがOKI、住友電気工業、富士通、三菱電機、マルチメディアグループ（HDTV）が日本電信電話、FAXグループがCIAJ画像情報ファクシミリ委員会、TTCグループが一般社団法人情報通信技術委員会。FAXの便利さを再認識してもらうため、顔認識機能のついたFAX、無線接続で設置場所を選ばないFAXなど、新しい機能を搭載したFAXを展示し、通信デモンストレーション。

相互接続性確保の取り組みの紹介では、HATS推進会議のコンセプトパネルコーナーとして、HATSの体制・活動概要、各相互接続試験実施連絡会の取り組みを紹介。また、海外標準化団体との相互接続試験の活動について紹介している。

ほか、一般社団法人情報通信技術委員会（TTC）コーナーでは、情報通信分野におけるTTCの標準化活動への取り組みを紹介している。

HATSコンファレンス2014は、10月8日午後1時から2時まで、幕張メッセ国際会議場3階301A会議室（セッション番号：NET2―03）で行われた。まず、講演1「最近のHATSにおけるトピックスの紹介。情報通信技術の進歩は大変急激に進んでおり、多くの機器やサービスが提供されている。健全な情報通信市場の発展のためには、製品レベルの標準に基づく接続性の確保が重要な課題。

HATSはこれらのベンダ／キャリアの各種情報通信機器間での相互接続を確認する活動に1998年より取り組んできており、同講演では、HATSの活動の概要と最近のTOPIC（10G―EPON、G3―PLC等）について報告した。

次に、通信機器の相互接続性確保に向けての講演。

講演1「高度通信相互接続（HATS）推進会議の最近の活動について（講師：高島義治HATS推進会議実施推進部会長／沖電気工業）、講演2「HATS G3―PLCレイヤ3・レイヤ4相互接続試験活動」（講師：神田充元HATS推進会議G3―PLCアドホックSWG主査／東芝）、講演3「Ethernet PONの相互接続性試験に関する取り組み」（講師：鈴木謙一HATS推進会議光アクセスアドホックWG主査／日本電信電話NTTアクセスサービスシステム研究所）が行われ、熱心に聴講した。

出展などのお問い合わせ

一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会
〒105-0013
東京都港区浜松町2丁目2番12号（JEI浜松町ビル3階）
電話：03-5403-9354　FAX：03-5403-9360
《担当》マルチメディアソリューション部　大坪 正男、小形 裕子
E-mail 大坪：m-ootsubo@ciaj.or.jp
小形：ogata@ciaj.or.jp